



とくもと こうしん
徳元 孝進

昭和62年の海邦国体の開催や体協会長など市のスポーツ振興に大きく貢献した。現在は糸満市社会福祉協議会会長などを務め、市民のくらしと福祉サービス向上のために尽力している。



きんじょう あやこ
金城 文子

第4次埋立事業(西崎)の申請や竣工に土地開発公社の職員として携わる。子ども食堂サタデークッキングや中央図書館友の会などのほか現在は市女性団体連絡協議会の会長として活動している。

ふくもと のぶみ
福元 信美

市総務部長として12月1日に行われる市制施行50周年式典や祝賀会、各種記念事業の計画および実施に向け、実行委員会を設置して取りまとめている。



かわかど よしと
川門 義人

市民活動支援センター所長として、地域の若者を参画させるためのボランティア育成、ゆんたく会やまち寺小屋など、市民が楽しみながら学ぶことができるよう各種事業を展開している。



「市制施行 50 周年に向けて」 ～これまでそしてこれからの糸満市～

旧正月×座談会について

「2021旧正月×座談会」は、糸満市の現状や課題、取り組みなどを話し合い、多くの人がテーマについて関心を持ち、行動するきっかけになることを目的に開催しています。今年、「市制施行50周年に向けて」これまでそしてこれからの糸満市」をテーマに、福祉、地域活動など各分野で活動している方々に集まっ

1

の会長として、地域福祉の充実・向上や老人クラブ連合会の発展のために活動をしているところです。市制施行前の話にはなりますが、子どもの頃に学校給食で出た鯖缶にとうじんぐわー(ろうそくの芯のようなもの)を入れてそれに火をつけて勉強したり、水も1キロ離れた場所に何度も汲みにいったりしていました。電気が灯り、簡易水道が設置されていく過程を体験したのは今でも思い出に残っています。糸満市になってからは、昭和62年の海邦国体(バドミントン、軟式野球)、スポーツ健康都市宣言に私自身が関わってきたので特に思い入れがあります。

金城 私は高校卒業した昭和49年に土地開発公社に採用されました。当時は、第4次埋め立て事業を申請してこれから進めていくところでしたが、この埋め立ては、許可申請から許可までに6年かかりました。そこから4年で竣工しないといけないというところで、重機もたくさん並んでとてもすごかったです。当時、空港まで15分でアクセスできるようにするのは考えられなかったもので、今考えると先見性を見据えた

川門 私は、三和中学校出身で、大学時代に休学して海外にワーキングホリデーでカナダに行きました。その時に、海外の人が自分の国や地域に誇りをもって話しているのを感じ、海外の人と自分の温度差が明確化されて漠然と街づくりについて考えるようになりました。一度は就職しましたが、ダンスが好きだったので子どもたちが元気になるような場所を作りたいと考えてダンススタジオの経営を始めました。その中で子供たちが10年後自分と同じように働くんだったと思ったら、糸満市という場所を誇らしいところに変えていきたい、街づくりに携わっていききたいという想いが強くなって、

次ページへ

2021 旧正月 座談会

広報いとまん
Itoman

DREAMS COME TRUE
夢は見るものじゃなく、かなえるもの

わたしの夢 No.102



うえはら こお とうま りょうが
(左) 上原琥央さん、(右) 當間椋牙さん

将来の夢はプロサッカー選手になることです。

12月に行われたJA共済OFA第34回沖縄県U-11サッカー大会で優勝したスポーツ少年団FC西崎の上原琥央さんと當間椋牙さん。沖縄県のナショナルチームにも選抜されている2人にサッカーの好きなどころと将来の夢について聞きました。

上原さんは「相手の意表をついてスルーパスしたり、ドリブルして攻めること」、當間さんは「ロングシュートを決めた瞬間」がサッカーの好きどころだそうです。そんな2人の将来の夢はプロサッカー選手になることです。夢に向かって頑張ってください!!

沖縄県糸満市
Itoman City

■人口			■火災・救急		
	12月	前月比		12月	前年比
人口	62,339	-16	火災	2件 (23件)	2 (-1件)
男	31,578	-14	救急	261件 (2934件)	24 (-193件)
女	30,761	-2			
世帯数	27,330	3			

※()内は令和2年の累計

■面積 46.63Km² (2019年7月1日現在)
■市の花木 ブーゲンビレア ■市の木 ガジュマル
■市の花 日日草 ■市の魚 タマン
(人口、世帯数、火災・救急件数は2020年12月末現在)

「声の広報」届けます ラジオ広報・市役所便り (FMたまん)

目の不自由な人に糸満市の情報を届けるため、広報いとまんをCDに吹き込み配布しています。「声の広報」を希望する人は、秘書広報課(☎840-8118)まで問い合わせてください。

■月～金
①7時45分～7時50分
②12時55分～13時
③17時55分～18時
■土～日
④12時55分～13時

現在、活動や過去の出来事、そしてこれからの糸満市の発展のためにどのような取り組みなどが必要かを語っていただきました。

2

それぞれの活動やこれまでの思い出など

徳元 私は、体育協会やスポーツ関係に長年携わってきて、現在は社会福祉協議会および老人クラブ連合会

埋め立てだったのかなと感じています。第4次の埋め立ては国の承認をもらうまでが大変でしたが、西崎地区が発展しているのはとてもうれしいです。公社や市役所で務めていく中で、多くの市民と連携して業務を進めてきたので、退職した後は、少しでも還元しようかなということで、ボランティアの他にも女性団体連絡協議会の会長として活動しています。